



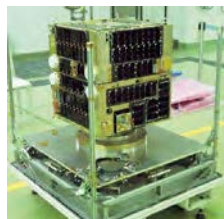
©JAXA

打ち上げられたH3ロケット6号機

2026年6月12日、静岡大学工学部能見研究室が開発した50kg級超小型衛星「STARS-X(愛称:しらいと)」を搭載したH3ロケット6号機の打上げが無事に成功！しらいとは、打上げ約16分4秒後に所定の軌道に投入され、宇宙空間での運用を開始しました。

独自開発した親子衛星「しらいと」

「しらいと」は、親衛星と子衛星で構成される親子衛星で、2つの衛星を結合する独自開発の結合機構を採用しています。50kg級衛星で、これまでのSTARSプロジェクトの衛星と比べて大きく、JAXA「革新的衛星技術実証3号機」の実証テーマ「宇宙テザー技術を用いたデブリ捕獲の技術実証」に選定されています。



©JAXA

「しらいと」のミッションは？

能見研究室がSTARSプロジェクトで目指しているのは、喫緊の課題である宇宙デブリを解決する技術を獲得し、宇宙エレベーターの実現につなげることです。今回、「しらいと」に課せられたミッションは3つ。

- ①宇宙空間でテザー(ロープ・ワイヤ)を1km伸展する
- ②テザー上を小型ロボットが移動する
- ③自衛星が放出したダミーの宇宙デブリ(ごみ)を捕獲する

現在、「しらいと」との通信やカメラ画像の取得に成功し、ミッション実現への初期運用を進めています。

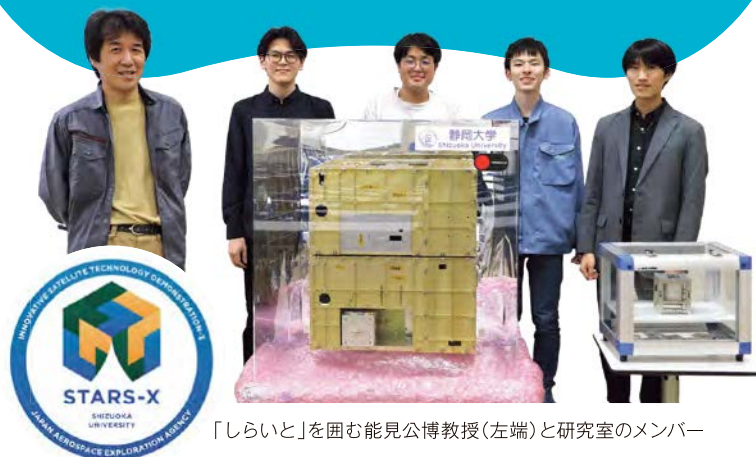


©JAXA

見つけた！ 輝く静大生

部活動・研究・地域連携など、
さまざまな分野で挑戦する静大生をご紹介します。

工学部の能見研究室が開発 超小型衛星STARS-X 「しらいと(愛称)」が 宇宙へ！



「しらいと」を囲む能見公博教授(左端)と研究室のメンバー

愛称募集で485件から決定！ 「白糸の滝」にちなんで「しらいと」に

STARS-Xの愛称募集を2026年5月に行い、全国から485件もの応募をいただきました。どの案からも衛星への期待や温かい思いが伝わり、ミッション実現の大きな力となります。ありがとうございました。選考委員会による厳正な審査の結果、静岡県の名勝で国の天然記念物でもあり、テザーが糸を想起させることから、「白糸の滝」(富士宮市)にちなんで「しらいと」に決定しました。



考案者
青木 様 (東京都豊島区)
青山 様 (東京都杉並区)
上田 様 (静岡県静岡市)

先輩たちからつないだ開発のバトン

「しらいと」は、能見研究室の学生たちが世代を超えて開発を受け継ぎ、多くの企業や関係者とともに作り上げてきた衛星です。それが実際に宇宙へ向かい、軌道投入される瞬間に立ち会えたことは、研究室メンバーにとって大きな喜びです。学生たちは「宇宙での挑戦はこれからです。実証実験の成功だけでなく、将来の静大衛星や宇宙開発全体に生かせる

成果を得るため、すべてのミッションを無事にやり遂げたいです」と抱負を語ってくれました。

【写真右より】開発に携わった
松崎優作さん、渡邊楓万さん
(共に総合科学技術研究科工学専攻2年)



WEB

情報危機管理コンテストで 6年ぶりに「優勝」



情報学部の学生チーム「ITソリューション室_げんこつ」は、企業のインシデント対応を想定し、実践的な技術力や分析力などを競う「第21回情報危機管理コンテスト」で最高賞にあたる「経済産業大臣賞」を受賞しました。今年度は25チームが参加し、5チームが予選を勝ち抜いて決勝に進出。その中で、本学は高度な分析力と的確な対応が評価され、優勝を果たしました。メンバーたちは「過去2年は準優勝だったので、今回優勝できてうれしい。連覇を目指して来年も頑張りたい」と決意を新たにしました。

【写真右より】

- ・高島湊斗さん(情報学部情報科学科3年)
- ・高橋陽拓さん(総合科学技術研究科情報学専攻2年)
- ・河口欣仁さん(同専攻1年)
- ・齊藤遼太さん(情報学部行動情報学科4年)



WEB

馬術部が 全国大会出場決定！



馬術部の堀田直太郎さん(理学部4年)とグレートシール号が、第61回中部学生三大大会で優勝し、全日本学生馬術大会への出場を決めました。昨年はあと一步で逃した全国大会出場。今年は日々の練習の成果を発揮し、悲願の出場権を獲得。積み重ねてきた努力が実を結びました。堀田さんは「先輩やコーチ、後輩、そしてグレートシールの支えがあって優勝できた」と振り返ります。馬術競技の魅力は、馬との信頼を育み、ともに成長すること。後輩たちの成長を支えることも活動の原動力です。「後輩が大会で活躍する姿を見ると、自分のことのようにうれしい」と話します。

全国大会に向けて「悔いの残らないよう全力を尽くし、最高のパフォーマンスを発揮したい」と目標を語りました。



Instagram

応援をよろしくお願いします！



ビジネスプランコンテストで 「第3位・海外チャレンジ賞」



野崎燕仁さん(工学部3年)が「Tongaliビジネスプランコンテスト2026」で第3位と海外チャレンジ賞を受賞しました。しずはま起業部(起業関心層の学生たちによる非公認インカレサークル)部長を務める野崎さんは、参加した114チームの中から16組のファイナリストとして決勝に進出しました。

受賞した野崎さんのプランは、利用者の視界情報をAIが解析し、次の動作を自動提案する義手「I-arm」。スマートフォンで操作でき、3Dプリンタを活用することで軽量化と低価格化が見込める点が特徴です。その独創性や社会課題の解決につながる実用性、将来的な事業展開の可能性が高く評価されました。副賞として、2027年3月に米国で開催される国際的なビジネスイベント「SXSW」への派遣権を獲得しました。野崎さんの今後の挑戦を、ぜひ応援してください。



WEB

レゴで全国の大学をつなぐ！ 静岡大レゴ部



ユニオン代表の佐藤さん

レゴ部の魅力は、一人では難しい大型作品も仲間と協力して形にできること。作品展示を通してものづくりの楽しさを地域へ届けられることも、大きなやりがいの一つです。レゴ部創設メンバーの佐藤隆貴さん(総合科学技術研究科工学専攻2年)が代表を務める「日本学生レゴ部ユニオン」は、全国8大学が加盟するネットワーク。佐藤さんが各大学の大学祭を訪ね、部長同士のつながりを築いたことが設立のきっかけです。活動の中心は、加盟大学合同で開催する「Japan Brick Expo」。今年は1,310人が来場しました。部長の野村宙希さん(工学部2年)は今後、さらに地域や企業との連携を深め、レゴを通じた交流の輪を広げたいと考えています。



2025年に大学公認化。部員も増加中



レゴ部
WEB



ユニオン
WEB